

令和2年度第2回八潮市地域公共交通協議会

開催日時	令和3年3月26日 午後3時から午後5時まで
開催場所	八潮メセナ集会室
公開状況	公開
傍聴者数	0人
審議結果	1 議題 (1)八潮市地域公共交通計画(案)について ・計画の目標及び実施事業について。 ・八潮市コミュニティバス再編計画について説明。 質問・意見 ○委員 コロナ禍において交通事業者の経営状況は大丈夫なのか。また、市から支援金を出ているのか。コロナが終息したら公共事業がなくなるという話がないとも限らないので、ご説明いただきたい。 ○事務局 市では交通事業者に対し国の臨時交付金を利用して交付金を支出している。このような状況ではあるが、八潮市が独自で補助金を出すまでには至っておらず、できる範囲で公共交通を利用して頂けるようなサポートをしているところである。 ○会長 各事業者においては、大変厳しい状況が想像できるが、今回のような公共交通をいかに乗りやすい形にし、利用者を維持していくか、ということが重要だと思うので、より一層この計画の重要性を再認識している。 ○委員 先日八潮駅へ行ったら、東武バスセントラルで春のダイヤ改正に伴い減便されるという貼り紙があった。コロナ禍であり、あらゆる公共交通会社も厳しい運行状況ではあると思うが、免許返納もあり、高齢者が八潮中央病院へ行くために、何とかバス路線を維持する配慮をしていただけないか。また、これから新庁舎建設に伴いバスターミナルが整備され、後にバスやタクシーの発着点になるかと思うが、2～3年後に、また増便または減便するのかは、考慮していただきたい。もちろん駅近く以外の北部地方なども考えていただきたいが、その点意見をいただきたい。 ○委員 当社としてはコロナ禍より経営が非常に厳しい状況であることから、八潮市内だけでなく全路線を対象に利用状況を考慮して全体的に減便を行った。特に高速バスに

関しては、減便または成田空港行きは運行を止めている。また一昨年から去年で問題にあった乗務員不足については、現在は逆に運行できない、ということで乗務員が余っている状況である。このような状況から少しでも収支バランスを取らなければいけなく、会社も存続の危機に直面しているというのが事実である。

○委員

バス事業者の話を伺い、営業なので採算の合わないところは当然撤退する、というは分かるが、70歳を超えると免許返納も検討し始めるので、減便するにしても実りのある減便をしてほしい、陸の孤島になっては困る、と思った。「危険なバス停」に指定された不動前バス停は、町会が管理する敷地内に移動し、現在あるブロック塀もバスの見通しを良くするために撤去した。また、夜間の安全性の確保のために、バス停付近の街灯は町会で設置を予定している。協力できることはしていく。とにかく、公共交通のバス運行をしていただきたい。

○会長

今後も懸命に計画をし、さらに利用が増えるような事業やサービスを一緒にやっていくことが重要だと感じた。

○委員

減便が既に始まっているという話だが、事業をやっているわけだから、赤字を膨らませたまま従業員を抱えるというのは、そう長く続かないと思う。なので、市には事業者を支援する計画を作してほしいと思った。また説明の中で、自転車からバスへの乗り換え、というお話がありましたが、道が平坦であることから、自転車に無理なく乗れる方は、目的地まで自転車で移動する。例外として、鉄道への乗り換えはあるかもしれないが、この計画にあるような、自転車からバスへの乗り換えを具体化するのは現実的なのか。

○会長

経営に関しての支援は市でも考えていただきたい。自転車に関して事務局から回答をお願いしたい。

○事務局

コミュニティサイクル(シェアサイクル)に関しては、実際にバスと自転車の公共交通の乗継のほかにも、短距離での移動支援を含めた考えが市にある。バスの利用状況等を調べた結果、駅からバス停が1個目から2個先のバス停では利用数が極端に少ない。そこで1～2km以内の短距離の移動に、自転車という移動手段を追加し、自動車からの転換を増やす、というのが考え方の一つである。また、利用の多い停留所の近くに自転車置き場があるが、そこに自転車を置いてから、バスに乗る方

もいる。そういった場所にシェアサイクルのポートを設置し、利用を広げる、ということを狙ったのがこの事業になる。ピンポイントでのポート設置は、利用が伸びないが、ある程度ポート数が増えると、利用頻度が格段に増えると事業者から聞いている。確かに初めの利用者数は上がってこないが、徐々に展開することで将来的に利用促進につながると思い今回の計画に入れた。

○委員

八潮市内で本当にそうなるのか。また自転車の利用者から、怖くて車道を走れないから歩道を走る、という声を聞くが、そうすると歩道を歩く歩行者の安全の面が出てくるので、道路整備を並行してやらないと、事故件数が増えることになる。そのようなことも含め、安全に自転車で移動できる環境を作ることも見据える必要があると思う。

○会長

自転車の走行環境に関しては、自転車利用促進計画とセットで取り組んでいくことが必要なため、それに関して記載をしてもいいと思う。

○事務局

指摘の通り、市内で危ない箇所は何か所もあるが、なかなか計画通りに道路整備ができないが、そういった面とセットで検討していくように、計画の中でも一言加える。市としてこの計画を進めていく中で大切なご意見だと思う。

○会長

多様なニーズがあると思うので、それに対して少しずつアプローチするのが、このあり方だと思う。八潮市は平坦で自転車が使いやすい地域のため、自動車から自転車やバスの移行に積極的に仕掛けることが重要かと思うので、一つの事業としてあっても良いと思う。

○会長

第1編と第2編の関係が分かりづらい。「八潮市地域公共交通計画(案)」14頁の「(2)実施事業の実施時期」「《事業2》八潮市コミュニティバスの再編」についてだが、ここだけ抜き出している意義が少し分かりにくく、全体の中でどう関連しているのか説明していただきたい。

○事務局

《事業2》八潮市コミュニティバスの再編が第2編の事業内容となる。こちらで大きく取り上げ、他とは別で第2編として取り上げた理由は、本計画の一番大きい事業の位置づけとして考えたため、第2編に入れた。そのため、今年度までOD調査や乗

降カウンター等の様々な調査を行い、集約した結果がこの再編計画に上がってくるもの、ということで別立てをした。今回の西ルートA案、B案、北ルートの検討内容は、調査を踏まえたルートなので、これらを踏まえ、今後の事業計画を考えてきたい。

○会長

これが主要な事業だということで、どこかに記載すると良いかと思う。また、路線バスを前提としてコミュニティバスが成り立っていると思うので、《事業1》八潮市役所新庁舎建設に合わせた路線バスの再編との関係も、もう少し記載するよう検討してはどうか。「八潮市地域公共交通計画(案)」14頁の図を見ると、今あるのはたたき台の案で、これをもとに令和4年度まで計画を検討し、令和4年度の後半から再編の運行をしていく、ということでよいか。

○事務局

ご指摘のとおり。

○会長

了解した。

○委員

北ルート、西ルートに関して、地元の方に話を聞いたら、ルートを拡大し、もう少しバス停も増やして欲しい、ということだったので、それを踏まえたルートを検討してほしい。また、令和4年度に運行を開始するということだが、現在も困っている状況は続いているので、当面の対応として、1時間以上間が開かない巡回タクシーのようなもので対応はできないか。コミュニティバスのダイヤ検討をしている期間限定で、西ルートでも八潮駅を中心に巡回タクシーを回し、実際に公共交通の利用者を、どのようにして掘り起こすかを試すような機会を検討できないか。

○事務局

巡回タクシー(乗合タクシー)については、市の方でも導入ができないかの検討はした。しかしながら、実際に巡回タクシーを導入するには、かなりの費用がかかる。また、他市町村へ様々な聞き取りをしたところ、利用者が限定的で、実際に止めてしまうという状況もある。そういった地域は、交通空白地域でありバスですら走っていない状況なので、本市としては、まずは現状の空白地域を埋め、皆様のご意見に沿えるルート、ダイヤを検討する、ということを最優先としルート案を示した。また、一度始めると、止めるきっかけも難しくタクシー券を配るのも困難かと思われるため、今回コミュニティバスのルートの再編にたどり着いた。

○委員

これは意見になるが、2時間に1本のバスは待てない、という声が北ルートで多く聞かれるので、試験的なものでも良いのでやってみる価値はあると思う。八潮団地まで行けばバスはあるけどその先が行けない、という声もあるので、何か工夫をしてできるだけ早く対応していただきたい。利用者を掘り起こすということは公共交通を立て直していく事だと思う。

○会長

迅速に進めていくことは重要なことだと思うが、予算措置等あるので難しいと思う。しかし、そこを上手く進められるよう事務局で検討していただきたい。また、実証実験を進め柔軟に状況を見ながらやっていく方法もあるので、その点も検討していただければと思う。関連して《事業5》新たな交通システムの導入検討で、実現できる可能性もあるので、一緒に検討していけると思う。

コミュニティバス運行事業者である委員に、八潮市コミュニティバスの再編について、見直しの基本的な考えに基づき、交通不便地域である八條エリア、古新田エリアの改善を検討するルートが示されておりますが、このことについてご意見をお伺いします。

○委員

北ルート、西ルートで行った乗降調査と、コロナの状況が焦点になってくると思うが、今後も市民の方が利用しやすいバスを八潮市と協力してやっていきたいと思う。

○会長

事務局から調整事項があると思うが、ご協力を願いたい。追加で質問がある場合は事務局に連絡願いたい。今回提示した案をアップデートした上で、パブリックコメントという流れかと思う。